

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
田んぼにGO！畑にGO！		南区役所区政企画室			
事業目的	事業内容	活動指標	R1	R2	R3
南区の特色である豊かな農空間を活用し、農作業を通じて広く交流するとともに、自然あふれる南区の魅力の周知を図る。	令和3年度は、新型コロナウイルスの拡大防止のため、田植え、収穫イベントを中止し、代替のステイホーム企画として南区内在住の小中支援学校の児童・生徒を対象に各参加者の自宅での稲作体験企画を実施。	参加組数(応募組数)	田植え47組(60組) 収穫45組(75組)	田植え 中止 収穫15組(46組)	ステイホーム企画 12組(12組)
		配信動画の再生数	-	-	みみちゃん田んぼ動画 再生数109回 (2022/01/20時点)
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○	南区のブランドである上神谷米の活用により南区の魅力を発信することができるため、区として実施する妥当性は高い。	○	豊かな農空間が広がる南区ならではの事業である。特に子どもにとっては、稲を育てる中で、成長の過程が学習でき、参加者にとってのインパクトは大きい。	○	南区公式TwitterやYouTube、南区ホームページ、広報紙での参加者の観察レポートや動画の掲載などによって取組に直接参加していない人に対しても長期にわたり魅力を発信し続けられる取組になった。
⑤自立発展性	総合評価				
-	当該事業は豊かな農空間という南区の特性を活かして地域間の交流を図り、南区の魅力を発信する目的で実施しているものであるため、区として実施すべき事業である。	○	本年は新型コロナウイルス感染対策のため、ステイホーム企画として新しい方法で南区の魅力を発信することができた。一方で田畑に集まる取組ではないため豊かな自然に直接触れることはできなかった。しかし動画による情報発信や、月に一度の観察レポートの南区ホームページ掲載など長期間の取り組みにより継続的に魅力を発信し続けることができた点はひとつの成果であると考えられる。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	新型コロナウイルス感染症の影響により不特定多数の方が集まるイベントの実施が難しいなか、自然あふれる南区の魅力を子どもたちに感じてもらう新たな手法を検討する必要がある。一方、南区ホームページ、広報紙、そして動画を活用した情報発信は多くの人に南区の魅力を発信する機会につながったと考えられる。今後も効果的な動画による魅力発信の手法を検討する。				